

9. 用語選定シート インストラクション

- ① テーマを記入します。テーマの文言は、後で修正することができます。
- ② 「5. 再把握シート」「7. パターニー覧シート」「8. 交差シート」（作成していない場合は、「1. 実例シート」）をながめながら、フェルトセンス(意味感覚)*を感じ直します。ここからは、フェルトセンス(意味感覚)を、論理的な文章にしていきます。
まず、これまで使った言葉の中から、重要語(句)だと感じられる語句や、繰り返し使った語句を拾い上げ、集めます。意味の近い語(句)は近い位置に、遠い語(句)は遠い位置に置きます。図を描いてもよいでしょう。完全にまとめあげてしまわず、浮かんでくることを置いていく感覚でおこないます。
- ③ ②の記入欄に、なるべく大きな三角形を描くつもりで、重要語(句)を、3つ選び、用語欄に記入します。意味が類似していない(離れている)語句を選ぶよう注意します。複数語(句)をまとめる新しい語(句)を考えてもよいでしょう。ここで選ぶ用語は、名詞または名詞句にします。それ以外のものを選ぶ場合は、「」で囲んで名詞句として扱います。

*「理論構築コース」の方へ

テーマとしているデータ理解の意味感覚(意味があるという感覚)を、「フェルトセンス」と呼びます。